

6 ハウス

チャートを読む 文型 3・4

課題との向き合いと、発展の方法を知ろう。

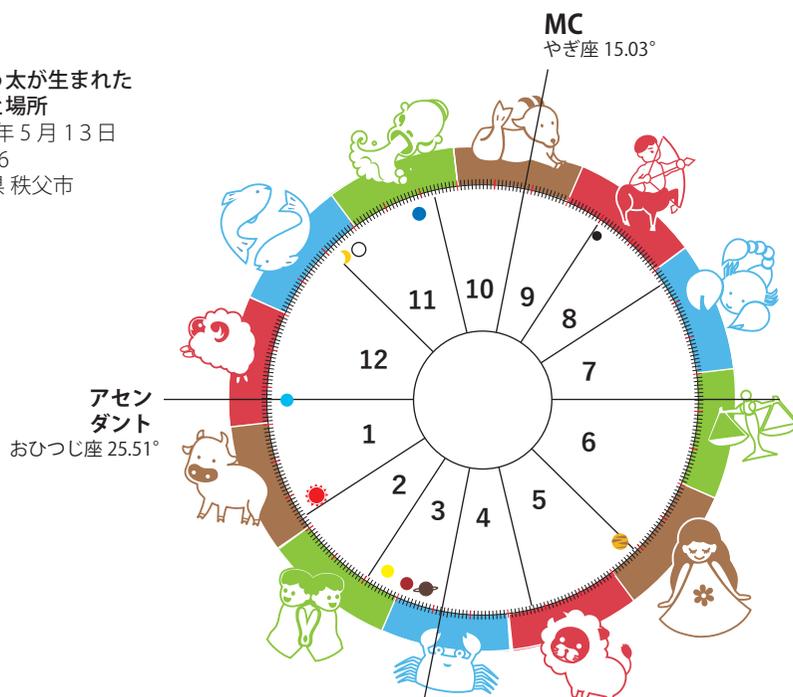
ハウス	ルーラーのあるハウス	ルーラーのあるサイン
3. わたしは []	で生まれた課題を []	で、 [] 解決へと導きます。
4. わたしは []	で生まれたテーマを []	で、 [] 発展へと導きます。

3の文型は、そのハウスで生まれた課題や悩みと、いかに向き合い解決へとみちびくか、そのヒントを読みときます。

4の文型は、そのハウスでの自分の傾向を活かし、さらにどう発展させるか、そのヒントをひもときます。



しょう太が生まれた
日時と場所
2004年5月13日
03:26
埼玉県秩父市



「なるほど…応用編ってわけだね」
ペンを握り直しノートに向かう。木野さんとのこれ

からが、かかっているからね。集中し新しい文型を手
順通りに読んでいく。すると…。

美術室は相変わらずオイルやら粘土^{わんど}やら絵具やらの匂いが、うっすらと漂^{ただよ}っていた。けれど不快感は無く、座っていると少しずつ気持ちが穏やかになった。

それはこの部屋の主である三沢先生のせいかもしれないなかった。

髭^{ひげ}づらの丸い顔はそれでもどこか柔和^{にゅうわ}な印象があつて、傍^{そば}にいと不思議と安心するのだった。

「すっごく楽しいですよ。一緒にやりましょうよ！」

木野さんが朗らかに言う。

「そう突然言われてもなあ…」

「占星術の面白さは、日々使うことで自分の才能を発見したり、育んだり出来るところです。きっと先生の、創作活動にも役に立つと思うんです」

とぼくは言った。

先生は、ふっと小さく笑った。

(…この年でそんなものが新しく発見できるんかねえ)

そんな心の声が聴こえたような気がした。

ぼくは少し考えて、言葉を足した。

「才能って言うのと大げさに聞こえるかもしれませんが。でも確かなことは、これを使い続けることで『気づき』が、たくさん生まれるってことです」

ぐっと眉間^{みけん}にしわを寄せ、先生がぼくに目をやる。「…気づき？」

「そうです。自分に対し、無意識に決めつけていたこと。誰かに対し勝手に思い込んでいたこと。

そんなことに、日々、気づいていくんです。

先生、いつだったか言っていました。『感動とは気づきだ』って。そして、絵を描く者は感動する心を失ったとき、終わるって」

静けさの中に沈んでいくような、妙な空気が辺りを

包んだ。木野さんは口をつぐみ、ぼくらの様子を見守っている。

押し黙り空を見つめていた先生は、やがて「そいつは…面白いな」と、ぼそりと言った。

そして目を細め、今度は優しい眼差しで見返すと「お前は面白いな、岡田」と言った。

突然自分の名前が飛び出してきたことに、動揺^{どうよう}する。

すると木野さんまでが、「ね。岡田くんって、ほんつと変わってる」そう頷くじゃないか。

ぼくは戸惑って、「そ…そうかな。ぼくへん？」と二人の顔を見回した。

先生はニッコリ笑って、「変なんて言っていない。面白いと言ったんだ」そう言うと、「よし。その占星術とかいうヤツを、お前から習おうじゃないか。

やるとなったら中途半端じゃつまらない。さあ、何から始めたらいいのか、教えてくれ」と続けた。

胸が熱くなるのを感じながら、先生に、生年月日と生まれた場所を尋ねる。

「出身は青森で、生まれたのは1988年3月28日、昼の12時ジャストだ」

「え…12時きっかりですか？」とぼく。

「ああ。陽一ってオレの名前は昼一番に生まれたってんで付けられたんだ。

田舎の病院で、12時の鐘が鳴り始めたのと同時に産声^{うぶごえ}がこだましたってな。母ちゃんが話して聞かせてくれたもんだ」

「わたしもママから訊いてきたよ！」

と、木野さんがすかさず言う。

これで全員分のデータが、もれなく揃^{そろ}ったわけだ。ぼくは早速、モックまのタブレットを開き、みんなのデータを入力した。

1

2

3

4

5

6

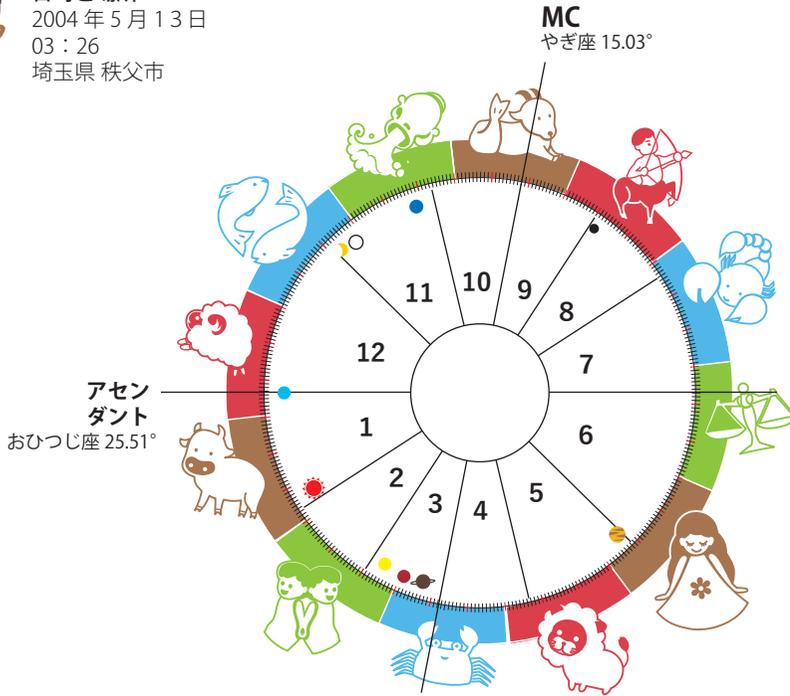
7

5 チャート

しょう太



しょう太が生まれた
日時と場所
2004年5月13日
03:26
埼玉県 秩父市



個人天体	月…心と体	<p>こんな風に無意識に思っちゃいやすいの</p> 	 <p>12 うお座</p>	<p>女 ● 水 『神秘』同調による癒しのエネルギー</p> <p>君が悲しいとぼくも悲しい…あれ… そもそもどっちの感情だっけ…</p>
	水星…知性	<p>こんな風にぼくの知性は発揮されるんだ!</p> 	 <p>1 おひつじ座</p>	<p>男 ▲ 火 『直感』生まれたてのエネルギー</p> <p>ぴんっときてパツ! 突発的!</p>
	金星…トキメキ	<p>こんな事にトキメキを感じるの</p> 	 <p>3 ふたご座</p>	<p>男 ● 木 『言葉』スピーディな情報収集の欲求</p> <p>「ねえ、どちてどちて?」好奇心いっぱい!</p>
	太陽…自己実現	<p>ここに人生の目的、その活力があるんだ!</p> 	 <p>2 おうし座</p>	<p>女 ■ 土 『所有』五感的満足の欲求</p> <p>ゆっくりじっくり感じながら作るんだ</p>
	火星…パワー	<p>こういう事にがぜんヤル気があいまうのさ</p> 	 <p>4 かに座</p>	<p>女 ▲ 水 『育』「良いもの」のコピー欲求</p> <p>「よしよし、いいこね」お母さん気質♥</p>
社会天体	木星…ゆるい社会性	<p>ここ社会でのポイントがあるよ</p> 	 <p>6 おとめ座</p>	<p>女 ● 土 『奉仕』『完璧』のための調整の欲求</p> <p>キチッぴしっ ちゃんとこなせてるか、ああ心配…</p>
	土星…キビシイ社会性	<p>お前の社会での最終到達地点は、ズバリここじゃ!</p> 	 <p>4 かに座</p>	<p>女 ▲ 水 『感じる』『良いもの』のコピー欲求</p> <p>「よしよし、いいこね」お母さん気質♥</p>
世代(社会)天体	天王星…革新	<p>こんな分野に新風を吹き込む世代さ</p> 	 <p>12 うお座</p>	<p>女 ● 水 『神秘』同調による癒しのエネルギー</p> <p>君が悲しいとぼくも悲しい…あれ… そもそもどっちの感情だっけ…</p>
	海王星…インスピレーション	<p>こんな分野に大きな夢を抱く世代ですわ</p> 	 <p>11 水がめ座</p>	<p>男 ■ 木 『革新』場・空間・既にあるものからの自由欲求</p> <p>常識? 壊すためにあるんでしょ?</p>
	冥王星…起死回生	<p>こんな分野でたましいが成長しちゃうの♡</p> 	 <p>9 いて座</p>	<p>男 ● 火 『高い視点』広い見聞への欲求</p> <p>あの星を手に入れるっ! 話も夢もでっかく!</p>

1

2

3

4

5

6

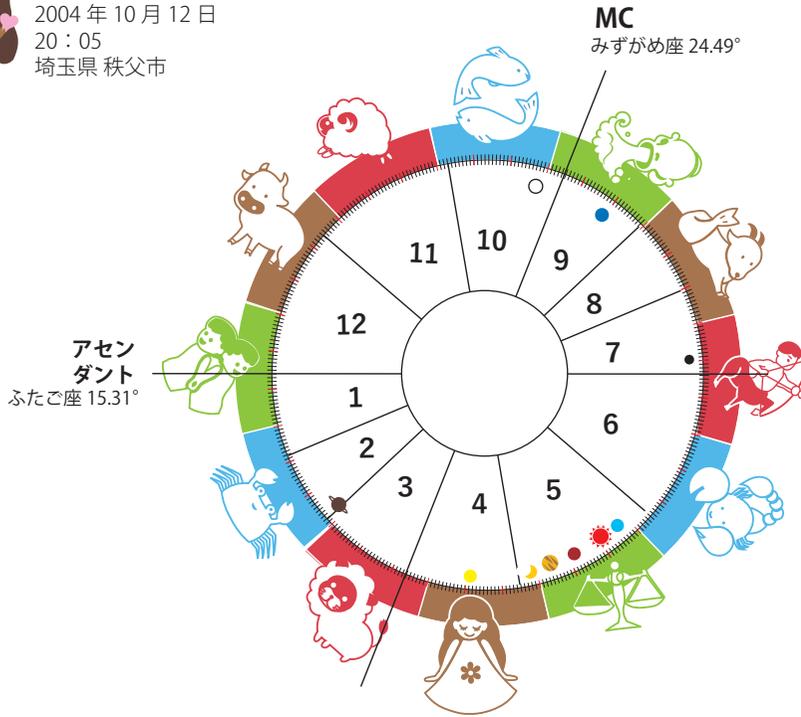
7

5 チャート

木野さん



木野さんが生まれた
日時と場所
2004年10月12日
20:05
埼玉県 秩父市



個人天体	月…心と体	<p>こんな風に無意識に思っちゃいやすいの</p> 	<p>女 ● ■ 『奉仕』『完璧』のための調整の欲求</p>  <p>6 おとめ座</p> <p>キチツピしっ ちゃんとこなせてるか、ああ心配…</p>
	水星…知性	<p>こんな風にぼくの知性は発揮されるんだ!</p> 	<p>男 ▲ ♋ 『美の調和』^{しゆかん きやつかん}主観・客観のバランス欲求</p>  <p>7 てんびん座</p> <p>オシャレ好き! 人付き合いはとっても軽やか♥</p>
	金星…トキメキ	<p>こんな事にトキメキを感じるの</p> 	<p>女 ● ■ 『奉仕』『完璧』のための調整の欲求</p>  <p>6 おとめ座</p> <p>キチツピしっ ちゃんとこなせてるか、ああ心配…</p>
	太陽…自己実現	<p>ここに人生の目的、その活力があるんだ!</p> 	<p>男 ▲ ♋ 『美の調和』主観・客観のバランス欲求</p>  <p>7 てんびん座</p> <p>オシャレ好き! 人付き合いはとっても軽やか♥</p>
	火星…パワー	<p>こういう事にがぜんヤル気がわいてくるのさ</p> 	<p>男 ▲ ♋ 『美の調和』主観・客観のバランス欲求</p>  <p>7 てんびん座</p> <p>オシャレ好き! 人付き合いはとっても軽やか♥</p>
社会天体	木星…ゆるい社会性	<p>ここでの発展のポイントがあるんだよ</p> 	<p>男 ▲ ♋ 『美の調和』主観・客観のバランス欲求</p>  <p>7 てんびん座</p> <p>オシャレ好き! 人付き合いはとっても軽やか♥</p>
	土星…キビシイ社会性	<p>お前の社会での最終到達地点はここじゃ!</p> 	<p>女 ▲ ♋ 『感じる』『良いもの』のコピー欲求</p>  <p>4 かに座</p> <p>「よしよし、いいこね」お母さん気質♥</p>
世代(社会)天体	天王星…革新	<p>こんな分野に新風を吹き込む世代</p> 	<p>女 ● ♋ 『神秘』同調による癒しのエネルギー</p>  <p>12 うお座</p> <p>君が悲しいとぼくも悲しい…あれ… そもそもどっちの感情だっけ…</p>
	海王星…インスピレーション	<p>こんな大きな夢を抱く世代</p> 	<p>男 ■ ♋ 『革新』場・空間・既にあるものからの自由欲求</p>  <p>11 水がめ座</p> <p>常識? 壊すためにあるんでしょ?</p>
	冥王星…起死回生	<p>こんな分野でたましいが成長しちゃう世代なの</p> 	<p>男 ● ♋ 『高い視点』広い見聞への欲求</p>  <p>9 いて座</p> <p>あの星を手に入れるっ! 話も夢もでっかく!</p>

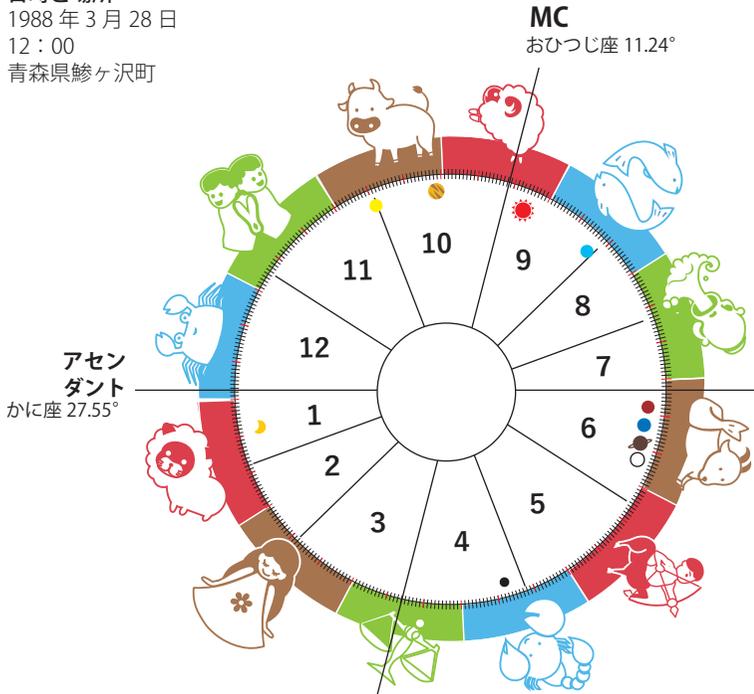
- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7

5 チャート

三沢先生



三沢先生が生まれた
日時と場所
1988年3月28日
12:00
青森県鮭ヶ沢町



個人天体	月…心と体	こんな風に無意識に思っちゃいやすいの		男  『クリエイティブ』自己陶酔のエネルギー 5 しし座	じこうすい 『クリエイティブ』自己陶酔のエネルギー そう、わたしは主役！！だって主役だからっ！
	水星…知性	こんな風に発揮される知性ばっかだ！		女  『神秘』同調による癒しのエネルギー 12 うお座	いや 『神秘』同調による癒しのエネルギー 君が悲しいとほくも悲しい…あれ… そもそもどっちの感情だっけ…
	金星…トキメキ	こんな事にトキメキを感じるの♡		女  『所有』五感的満足の欲求 2 おうし座	しょうゆう 『所有』五感的満足の欲求 ゆっくりじっくり感じながら作るんだ
	太陽…自己実現	ここに人生の目的、その活力があるんだ！		男  『直感』生まれたてのエネルギー 1 おひつじ座	『直感』生まれたてのエネルギー ぴんっときてパツ！突発的！
	火星…パワー	こういう事にがぜんやる気があつまるのさ		女  『使う』権威・リーダーシップの欲求 10 やぎ座	けんい 『使う』権威・リーダーシップの欲求 さあ、どーやって結果出していきましょうかね
社会天体	木星…ゆるい社会性	社会での発展のポイントがあるんだよ		女  『所有』五感的満足の欲求 2 おうし座	『所有』五感的満足の欲求 ゆっくりじっくり感じながら作るんだ
	土星…キビシイ社会性	お前の社会での最終到達地点は、ズバリここじゃ！		女  『使う』権威・リーダーシップの欲求 10 やぎ座	『使う』権威・リーダーシップの欲求 さあ、どーやって結果出していましょうかね
世代(社会)天体	天王星…革新	こんな分野に吹き込む世代さ		女  『使う』権威・リーダーシップの欲求 10 やぎ座	『使う』権威・リーダーシップの欲求 さあ、どーやって結果出していましょうかね
	海王星…インスピレーション	こんな大きな夢を抱く世代ですわ		女  『使う』権威・リーダーシップの欲求 10 やぎ座	『使う』権威・リーダーシップの欲求 さあ、どーやって結果出していましょうかね
	冥王星…起死回生	こんな分野で強力がたましいや成長しちゃおう		女  『変容』同一化による支配・探求の欲求 8 さそり座	どういつか 『変容』同一化による支配・探求の欲求 ハマったが最後、やりぬく、そして愛し抜く…

「10個の天体は、その人の中に眠るスペシャリスト。そして12のサインはその人の質、キャラクター。この二つのかけ合わせで、その人だけの個性が見えて

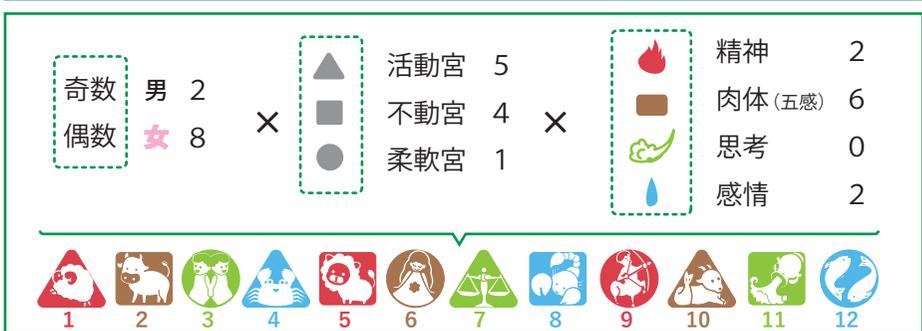
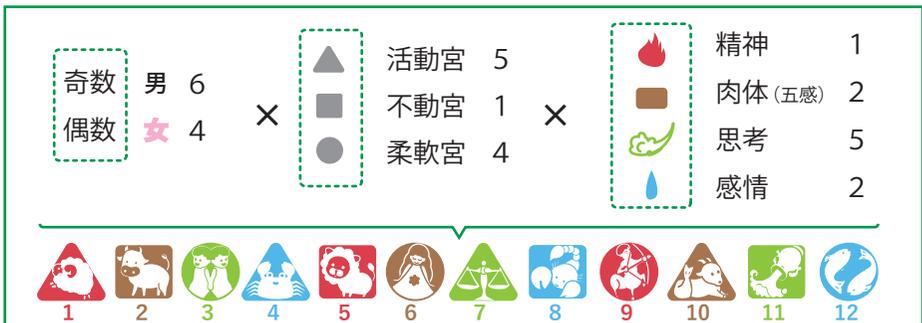
きます。
まずは10の天体が入っているサインを、大まかに分類してみましょう」

5 チャート

サインの比較

ネーターチャートを比べてみよう

チャートを読むとき、まず初めに 12 サインの 3 分類から見ていきます。
お友達と一緒に読むことで、互いの魅力や質の活かし方が分かるでしょう。



奇数 = 男	積極的！ 発散!!	外側が大事！
偶数 = 女	受け身 取り込む♡	内側が大事♡

▲ 活動宮	スタートさせるの大得意！迷わずGOGO！ でもちょっぴり飽きしょうかも
■ 不動宮	続けるの大得意！コツコツ繰り返して定着だ！ でもちょっぴりガンコかも
● 柔軟宮	合わせるの大得意！希望を聴かせてくださいな♪ 他人次第って言われちゃうかも

🔥 精神	独立独歩！志高く上を向くっ！ 理想論だって？俺が決めたことゴチャゴチャ言うな！
🍷 肉体 (五感)	形にする。見える化する。リアルっ大事！ ちゃんとなんか利益はあるんでしょね？
🌿 思考	学ぶ、伝える、楽しいな♪ 一人に肩入れムリー！何でも軽やか重い責任はニ・ガ・テ♪
💧 感情	ハートで繋がりがりぴたっつとシンクロ♡ 愛してるからこそヨクヨク。重たいなんて言わないで♡

「まずはっと。男タイプか女タイプか」

三沢先生はぼくらのサインの表組を見比べ「これ見る限りじゃ、一番男らしいのは木野だな」と言った。

「男らしいってなんですか！もうっ！」

ふくれっ面の木野さんをあしらいながら、先生はいぶかしそうに「そして一番女々しいのがオレじゃないか！岡田、これ本当に合ってるのか？」と尋ねる。

ぼくは内心冷や汗をかきながら、男タイプと女タイプの質について説明をした。

「なるほど。一番に自分の内側を大事にする。それはまあ、あるかもな。けど結構、積極的なところもあるぞ？」と三沢先生。

「先生のネーターチャートを見ると…。素の自分を表す月、成りたい自分を表す太陽。10の天体の中で、一番要になる二つがどちらも男タイプ、火のサインなので。

2：8の割合で女タイプに偏^{かたよ}ってるとは言え、質は半々くらいに表れると思います」

「だよな。それを聞いて納得したぜ」

と先生。そしてまた、表組に目を落とした。

「季節のエネルギー。こいつが示す質ってのはよく分かるぞ。

オレは『柔軟に人の要望に応える』ってのが苦手なんだ。何かに熱中すると、すぐ他のことは忘れちゃう。仕事をいくつも同時にこなすってのが、からっきしダメでなあ。

そこいくと岡田は、どうやらそれが得意みたいだなあ」

「そうですね。ぼくもあんまり自覚が無かったんですが、複数のことをこなしたり、相手の要望を察知^{さつち}したりするのが、結構得意なんですよね」

「わたしの場合、柔軟宮に四つ天体があるんですけど、その内の二つがおとめ座だからかな？」

みんなの要望に応えるのは好きなんですが、途中で変更があると調子狂っちゃうんです」

と木野さん。

「柔軟宮のサインは、ふたご座、おとめ座、いて座、うお座。

木野さんの場合、柔軟宮に四つと言っても、おとめ座以外の二つは世代天体。

世代天体って個人の個性にはあんまり影響しないから。柔軟宮らしさが、際立っておとめ座っぽく表れているんだね。

変更に応じてその場でクルクル対処できるのは、ふたご座、いて座。二つとも男タイプで、意識が外に向いているからね。

うお座は『水』で情緒的だから、人の想いを察知し、合わせるのが得意」

「なるほど。それが次の火・地・風・水の仕分けだな？」

「そうです。そちらに移る前に、活動宮と不動宮をチェックしてみましょう。

先生の場合この二つに多く天体がありますが、どう感じますか？」

「そうだなあ。確かにオレは一回始めたことは結構続けちゃうタイプなんだよなあ。

もうそれ止めたら？って周りから言われても、どうも放りだせなくて」

「例えばどんなことですか？」

「どんなことってお前、一つは作品とかだなあ。

これ以上絵具をのせたところで修復は不可能だろうって画面になっても、しつこく何カ月も続けて時間を無駄にしたりとか。

1

2

3

4

5

6

7

後はまあ、女とか、仕事とか、色々だ」
「あんまりスタートダッシュの活動宮はピンとこない感じですか？」

「そうだなあ。やると決めたらすぐやるんだけどもな。正直続けてきたものを捨てて、何かを始めるとなるとしり込みしてしまうな」

ぼくは、なるほど、とつぶやいて先生のネーターチャートに目を落とした。

「そうですね。先生の場合、月と金星って言う思春期までの天体が不動宮にあるから。そして水星はどっちつかずな柔軟宮の、うお座にある。

だから26才くらいまでは結構不動宮が強かったはずなんです。今先生は30歳だから、その名残があるんでしょうね。

でも先生の太陽はおひつじ座。太陽が大きく発達する時期は26才を超えた辺りから。

おひつじ座は活動宮で、何かをスタートする力は抜群です。

太陽を意識して使ってあげることで、ぐっと夢に近づけるはずなんです」

「うーん。勢いに任せてやっちゃまおうかって迷う時もあるんだが…」

と三沢先生。

心の中で（そうそう、そのいき！）とエールを贈る。「ねえ、岡田くん。わたし、あれから結構ネットで調べてみたんだ。

活動宮って、おひつじ座、かに座、てんびん座、やぎ座でしょ？」

でも星占いとかで読む、かに座ややぎ座って何かをスタートさせるタイプに見えないよ？」

かに座はお母さんタイプでほっこり系。やぎ座はガ

ンコっぽいじゃない」

「そうだな…。

活動宮のサインは周囲の皆の意志や感情を『こっちはですよ！』と方向づけするのが得意なんだ。かに座は『良いもののコピー』が特徴だけど、これってつまり『これが良いものですよ！』って、旗を振って先導するってことだろ？」

「そっか。お母さんって家の中で色んな事取り決めて、先取りしてやるもんね」

「そうそう。やぎ座もしかり。かに座が家庭なら、やぎ座は社会の組織やグループで、リーダー格になる存在だろ？ 『お前ら、こっちだ！』って旗を振る役割だ」

「なるほどー。ねえ、じゃあ不動宮は？」

「不動宮は、おうし座、しし座、さそり座、みずがめ座だね」

彼女は小首をかしげ、「みずがめ座ってさ。革新のエネルギーなんでしょ？それなのに、これも不動宮なの？」と質問する。

「ああ、もちろん。

みずがめ座の人って結構、同じスタンスでずーっとやり続けてる人が多い。オリジナルのアイデアを生む力もあるけれど、そもそも根っこの発想は『常識を超える』ってことで一貫^{いっかん}している。

それにさ。社会の前提をくつがえそうと思ったら、持久力がなきゃ難しいだろ？」

「なるほど、面白いな」

先生はそう言って、また表組に目を落とす。

「なあ、岡田。実のところオレは次の火・地・風・水が気になってしょうがない。オレんとこの風は0じゃねえか。オレはそんなにバカなのか？」

「え、いや」

ぼくは頭をかいて先生のチャートをにらみ、コホンと咳払いをする。

「12サインの質は、何も天体が0だからって、その質が無いわけじゃありません。

例えば、地(肉体)のサインに天体が0でも^{からだ}身体が無い人はいませんよね？」

「そりゃそうだな」

「それは全てのサインに言えます。

そのサインに天体が入っていないと単純にその質が、おろそかになりやすいだけ。地に天体が少ない人は、健康管理や^{おこた}身体^のケアを怠りやすいし、結果に対して詰めが甘かったりする。

火が少ない人は、目の前の実務の対処に追われて、大きな志を持ちにくかったり。

水の少ない人は、自分が実は傷ついていた^り怒っていたり。そんな感情に気づきにくく^{ふた}蓋^をしがち。

同じ様に風のサインが0なら、外からの情報にそもそも関心がなく、自分だけのビジョンや思考にかたより易いってことなんです」

「分かる気がするぞ。オレは未だにインターネットを見ると頭痛がする」

「風に天体が入って無いからって、地頭の良しあしは関係ないってことでしょ？」

木野さんが、サラッと言葉を加えた。

「そうだね。ただ、基本的には『好きこそものの上手なれ』。興味があって、そちらに関心を持ち続けられ知らない間に上達してるってことは全てに言えるんだ。

風の強い人なら情報収集や学びが好きで、熱中するうちに博識になる。

火が強い人なら高い志で未来を見つめるうちに、行動力に拍車がかかって目標を達成している。

水が強ければ人の感情に敏感な分、カウンセリングやサービス業が、知らない間に適正になっていたり。

地が強い人なら現実を常に重視する分、誰よりもお金や結果を手にしていたり。

そして地は『五感を使って現実を作る』と言う意味がありますからアーティストにも多いんですよ」

「そうか。オレは完全に地が優位だな。正直まるで金は無いが、確かにアーティストの端くれだ」

「先生の場合、最も要になる二つの天体、月と太陽がどちらも火ですから。地と火の二つを^か兼ね備えていると思ってください」

先生は、うむと低くうなると、自分の質の特徴を読み上げてみせた。

「火(精神)：独立独歩！志高く上を向くっ！

理想論だって？オレが決めたこと
ゴチャゴチャ言うねいっ

地(五感)：形にする。見える化する。

リアルっ大事！ちゃーんとわたしに
利益はあるんでしょうね？

あっちゃあ…」

大きな手で顔を^{おお}覆う。

「まったくこのまんまだ。志はでかいんだ。

夢なんて考えだしたら、そりゃまあ天まで届きそうな勢いさ。けど現実主義者のオレもいて過去の実績から見て…なんてリアルに算段し始める。

で、現状維持を選んじまうんだよなあ」

「分かります。わたしも風が強いけど、月が地だもん—」

そうぼやく木野さん。

まるで昨日の自分を見ているようで内心可笑しく思

1

2

3

4

5

6

7

いながら、ぼくはモックまの真似をしてちょっと怖い顔をして見せた。

「二人とも、大切なことを見逃しています。」

地のサインは決して現実を突きつけて夢に足止めをくравせるサインじゃありません」

「でも実際にはそうなってるもん」

と、木野さんが可愛らしく頬を膨らませる。

ぼくは小さく首を振り、「あくまで地は『形にするのが得意』な質。自分はこれだけ地があるんだから、この志を現実にする力が在る。そう解釈してください」「なるほど」

三沢先生が、低い声で頷く。

「おとめ座の現状分析する力。やぎ座の結果を出そうとする力。」

これがあるからこそどんな夢も実現できる。

そうセットして行動を決めれば、きっと大きなことにチャレンジできるはずです」

二人はそれ以上言葉を発しなかったけれど、内心は自分の地の質を、ちょっと誇らしく思ったのがぼくには分かった。ぼくは嬉しくてさらに言葉を続けた。

「そしてぼくらは皆、自分の苦手な質を補ってくれる人と、組むといいんです」

「組む？」

「そうです。仲間を見つけたり、仕事上のパートナーを見つけたり。」

例えば先生なら、風や水の強い人をサポーターにすると、情報を集めてきてくれたり、感情面を支えてくれたりするはずですよ。

その逆に、先生の志の高さが彼らの勇気になったり、具体的な行動がやる気を促す。相互作用になって一緒に発展します」

「なるほど」

「あたし、風強いですよ！」

と木野さんが言う。

「うん。このメンバーは、ぼくが水、木野さんが風、先生が地と火。それぞれ質がバラバラですよ。」

一緒に何かを勉強するには互いに刺激になってとても良いんです」

「ふむ…。」

正直、最初は占いに毛が生えたようなもんだと思ってたが、中々どうして。奥が深いな」

「まだまだ、こんなもんじゃありません。」

自分のチャートを読むことで『ぼくらは一体なぜこの世界に生まれてきたのか』そのヒントを知ることだってできるんです」

先生の反応に自信が湧いて、ぼくは大きな声でそう答えた。

「面白そうー！早く続き、教えて教えて！」

はしゃぐ木野さんに頷き返し、ぼくはレッスンを続けた。

31. ぼくらがこの世界に生まれてきた理由

「ではまず、それぞれのアセンダントをチェックして。ここから『その人の第一印象』が分かります」

「えっと、わたしのアセンダントはふたご座だから。第一印象は『ねえ、どちてどちて？好奇心いっぱい』これだよな？」

と木野さん。

頷きながら（そっか。だから、ぼくのふたご座の金星が、彼女にクリーンヒットしたんかも）心の中で、

そんなことを思う。

「どうかした？」

顔を上げ、こちらを見つめる大きな瞳に全てを見透かされているようで、ぼくは内心ドギマギしながら「い、いや、何でもないよ。そうそう、そう言うこと！」と言葉を返した。

三沢先生はそんなぼくの心中など、気に留める様子もない。

「なあ、おい。これを見るとオレのアセンダントはお母さん気質のかに座だぞ。間違っていないか？」

表組と自分のネータルチャートを見比べて、そんな質問を投げかけてくる。

「生まれた時刻に狂いがなければ、正しいはずですよ」

「ふーむ」

「難しく考えなくても、先生、充分優しい印象よ？」と木野さん。

「そ、そうか？オレは凶体がでかいし、この脚だし、人は大抵近づきにくく感じてると思ってるんだが…」

示し合わせたワケでもないのに、ぼくと木野さんはあははと笑った。

「ぜんぜんちがいますよー。ね、岡田くん。先生、何だかほっとする感じあるもん」

「そうかあ？」

三沢先生はまだ納得がいかないらしく、首をひねる。「かに座は心休まる居場所を大切にサインです。子どもを育てるお母さんが、お家を大事にするのと一緒ですね。

逆を返すとアウエイに弱い。つまり人見知り」

「ああ、それはある。

オレは初めてのところだと顔がこわばるんだ」

「それって先生が緊張してるから、勝手に周りも緊張

してると思い込んでるとか」

と、木野さんがアシストしてくれる。

「な、なるほど。お前ら賢い！」

ぼくは笑ってそれぞれのチャートに目を落とした。

「こんな風に、チャートを読んでいくとたまに『ぜんぜん当てはまらない』と思うことがあります。理由はいろいろです。

小さい頃にその質を欠点だと思い込んで、真逆の方向に努力していたり。

本当に大切な願いは、叶えられなかった時にショックが強いから。自分の才能を無かったことにしていたり。

でもネータルチャートは自分の魅力や才能を、その源泉を、緻密に記したカルテなんです。

宇宙からのすんごい大きな贈り物です。

だから『当たってる・当たってない』って簡単に判断しないで、その質をじっくりと感じて、どうか自分で使えるよう日々チャレンジしてみてください」

「はいー！」と木野さん。

「さて…。アセンダントは『何をしたくて、この世に生まれてきたか』を読み解くこともできるんだけど…」

ぼくはそう言って、ハウス、天体、ルーラーについても簡単に説明をした。

そして昨日習ったばかりの文型を提示する。

4. わたしは□□で 生まれたテーマを□□で、□□発展へと導きます。

「この文を使い、『生まれてきた目的』を紐解くと…」

1

2

3

4

5

6

7

5 チャート

アセンダント
を読む

文型 4

アセンダントは「第一印象」と「初期衝動」。

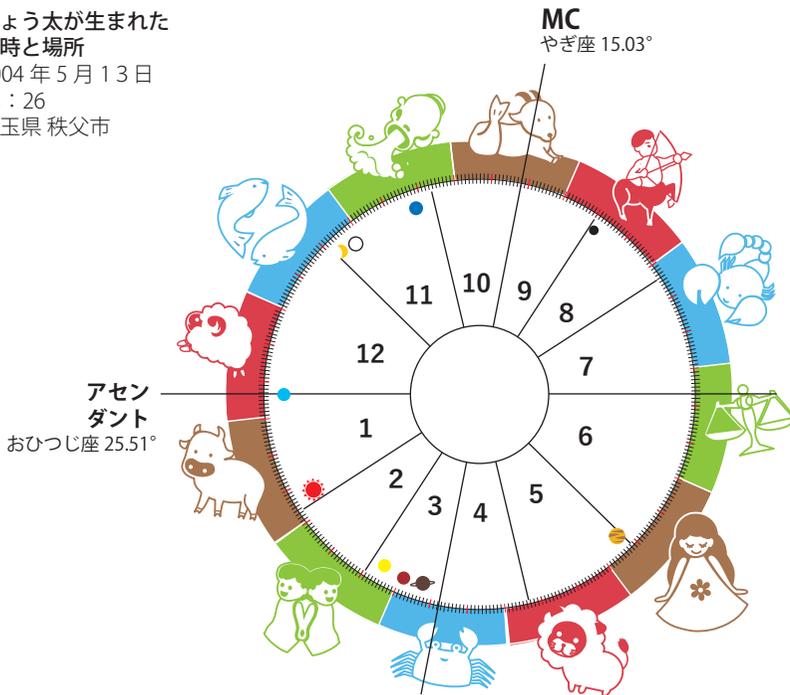
アセンダントのサインは人生を通し「何か事を始める最初の衝動」を示します。

さらに大きな意味では「何をしたいくてこの世に生まれてきたか」を読むことが出来るのです。

4の文型を応用し読みといて、それを自分の言葉に置き換えてみましょう。



しょう太が生まれた
日時と場所
2004年5月13日
03:26
埼玉県 秩父市



ハウス	ルーラーのあるハウス	ルーラーのあるサイン
4.わたしはアセンダント	で生まれたテーマを [] で、	[] 発展へと導きます。

わたしは [おひつじ座の
アセンダント] で生まれたテーマを [おひつじ座の
ルーラー火星が
ある3ハウスで] で、 [かに座
らしく] 発展へと導きます。

- ✓ **第一印象** ぼくのアセンダント は、おひつじ座にあります。
そのためぼくは、一見すばしっこそうで、
目は力強く印象的かもしれません。
- ✓ **最初の衝動** ぼくは何か事を起こす時、たいてい直感で決めるし、
そうすると上手くいくことが多いようです。
- ✓ **何をしたいくて
生まれてきた?** こんな風にヒラメキで行動し、初めてのことで果敢に挑戦する。
そんなことをしたいくて、ぼくはこの世界に生まれてきました。
- ✓ **そのテーマを
どう発展させる?** このテーマを、ぼくは学びの部屋3ハウスで、かに座らしく、
発展へと導きます。それはつまり、直感的に発した言葉によっ
て揺さぶられた相手の心によりそいながら、深い気づきや感動を
共有し、一緒に学ぶと言うことです。

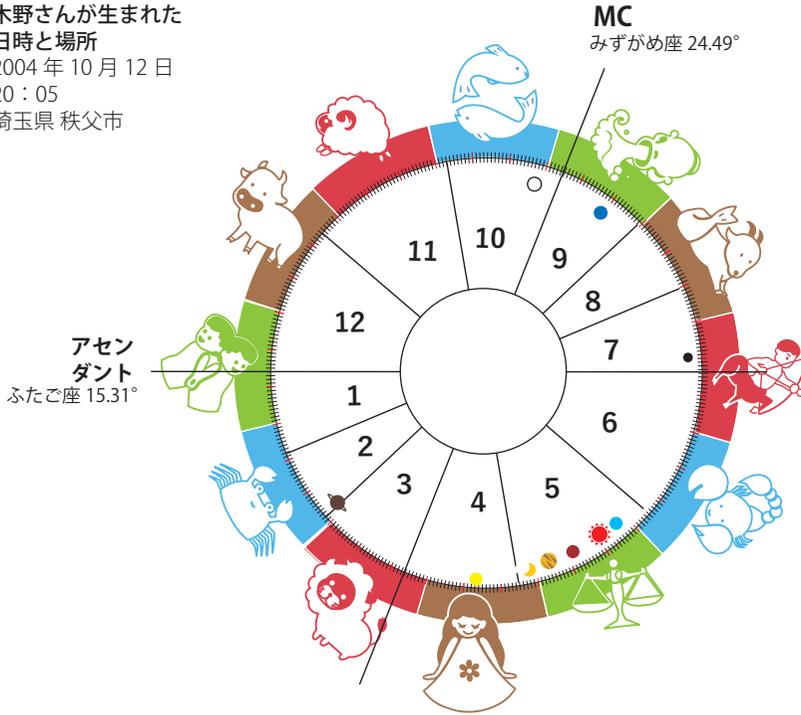
- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7

「わー面白そう！」
「なるほど…。文型に条件をぶっこんで、後で文章に
まとめるんだな。うむ。何とかやれそうだ」
この世に生まれてきた目的をこんな風に自分で紐解
けるなんて、誰だってテンションあがるよな…。

二人の期待感が伝わって来てぼくは胸が熱くなるの
を感じた。
「さあ、それぞれ自分のアセンダントを読んでみま
しょう！」



木野さんが生まれた
日時と場所
2004年10月12日
20:05
埼玉県 秩父市



ハウス	ルーラーのあるハウス	ルーラーのあるサイン
4. わたしは アセリダント	で生まれたテーマを [] で、	[] 発展へと導きます。

わたしは [**ぶたご座のアセリダント**] で生まれたテーマを [**ルーラー水星が**] で、 [**てんびん座**] 発展へと導きます。
ふたご座の
ある5ハウス らしく

✓ **第一印象** わたしの第一印象は、話好きで色々な事に興味がありそうに見えるかも知れません。

✓ **最初の衝動** 何か事を起こす一番初めの衝動は、「面白そう!」と感じるかどうか。

✓ **何をしたいくて生まれてきた?** だってわたしはこの世界に、ぶたご座のような好奇心で、興味あることを
 生まれたいから? いっぱい学びたくて生まれてきたから。

✓ **そのテーマをどう発展させる?** このテーマを、5ハウスが示すエンターテインメントの場や芸能界、そんな
 華やかな場所で女性の美・調和を大切にしながら表現し、発展させていきます。

「これが、ぼくらがこの世界に生まれてきた根っこの理由。

そしてぼくらは人生を通して10の天体を使いながら、眠っている個性を一つ一つ磨き成長していきます。

その結果『自分の個人的な喜び』と『社会への貢献』が合わさる瞬間がやってくる。

それが社会での最終到達地点、MCです」

三沢先生が、「これも同じ文型で分かるのか？」そう詰め寄る。

「はい。あまりに遠い未来だと、文章を作ってもピンと来ないかもしれませんが…」

そう声をかけたけれど、先生は気に留める様子もなく、早速文章を作り始めた。

オレのMCはおひつじ座にある。だから社会の最後の到達地点は、独立独歩、誰にも従うことなく自分で決めて、自分でやれる仕事だろう。

おひつじ座のルーラー火星は、6ハウス労働の部屋にある。この場所でやぎ座らしく組織をつくり…

その様子を見ていたぼくは、昨日モックまから習ったことを思いだした。

それはハウスを読むときのルールで、天体の位置によっては前後のハウス、どちらの影響も受けるというものだった。

先生の火星の位置を確かめる。

「三沢先生の場合、火星は6ハウスも7ハウスも、どちらの影響もあるようです」

「そうなのか？6ハウスは『職場』とか『地域社会』なんだよな？」

「はい。

この場所はおとめ座がベースになっていますから、しし座までの奔放な自分を律し環境に合わせて自分をブラッシュアップしていく場所。

5ハウスの自由さと比べると、どうしても苦痛を伴う場所ですが、これが在るから次のてんびん座で自分の表現したものを上手にプレゼンできるようになっていく」

「7ハウスは自分自身や自分が作ったものを他人様に喜んでもらえるように、上手に見せる場所ってことか？」

「その通りです。『社交の場所』とあるのは、そんな風に自分を客観視して上手く外にピーアールできるからなんです」

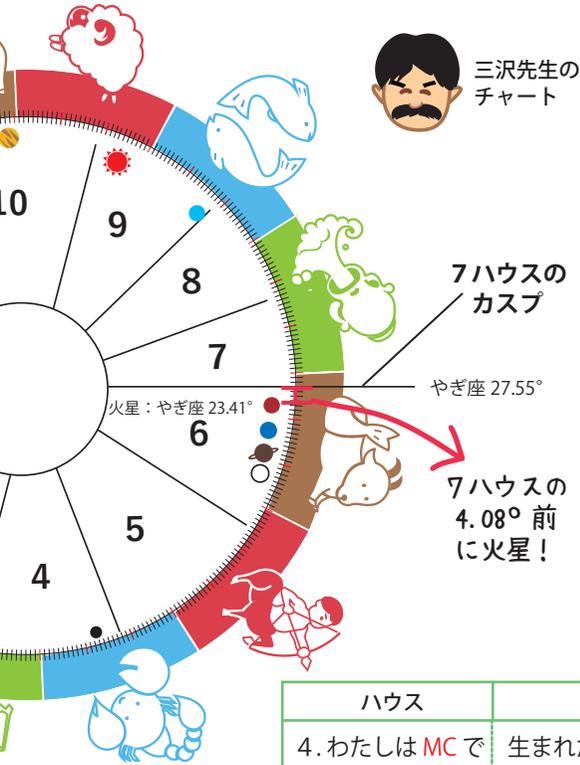
先生はぼくの話にじっと耳を傾け、やがて二パターンの文章を作った。

5 チャート

MC を読む

文型 4

ハウスの5°前ルール



天体はカusp（ハウスの始まり）の5°前辺りから次のハウスの影響を受け始めます。

カuspの5°前辺りに天体がある場合は前後どちらのハウスも読んでみましょう。

1～3°前ならば、すでに次のハウスに在ると考えます。

ハウス	ルーラーのあるハウス	ルーラーのあるサイン
4. わたしはMCで	生まれたテーマを [] で、	[] 発展へと導きます。

わたしは [**おひつじ座のMC**] で生まれたテーマを [**おひつじ座のルーラー火星がある6ハウス**] で、 [**やぎ座らしく**] 発展へと導きます。

オレのMCはおひつじ座にある。だから社会の最後の到達地点は、独立独歩、誰にも従うことなく自分で決めて自分でやれる仕事だろう。

6
ハウス おひつじ座のルーラー火星は、6ハウス労働の部屋にある。
この場所でやぎ座らしく組織をつくり、人を配し、労働の場所らしく自分も率先して働きながらコツコツと積み上げ発展していくんだろう。

7
ハウス 火星は、7ハウスにある。ここはてんびん座に関連したハウスだ。
だから自分の主観で表現してきたものを、どう人に分かってもらうか、その視点を磨いて、お披露目する場所とも言える。ここで頑張ることで人々から評価を得て、やぎ座らしく成果を上げていけるだろう。

「…なるほどな。

オレとしちゃあ7ハウスの影響があった方が、嬉しいなあ。

オレは自分の感動のまま絵を描くのは得意なんだが、人からどう見えるのかを計算するのが苦手だな」

「ねえ、岡田くん。

わたしのチャートは、5ハウスに天体が集まってるでしょ？ てことは、プレイスポットで天体を使うと、個性や魅力がもっと発揮されるってこと？」

「そうだね。ただ子ども時代は中々、自分で環境を選べないだろ？ だから将来5ハウスのな場所で活躍するために、日々どんなシーンでも天体達を使うこと。

そうすることで周囲の環境が、自然と5ハウスに近づいていくんだ」

「そっか。まずは場所にこだわらず、天体達を使うことなのね」

「そういうこと！」

「なあ、岡田。それを言うならオレのチャートは6ハウスに天体が固まってるぞ。

この場所はいわゆる世間一般の会社とか、ちょっと苦痛な職場とかを示すんだろ？」

「そうですね…」

「てことは、やっぱり学校勤めが性に合ってるんじゃないのか」

「先生ってば。さっきMCを読んだときに『最後は誰にも従うことなく自分で決めて、自分でやれる仕事だ』って言ってたばかりなのに…」

木野さんが口をはさむ。

実はぼくも三沢先生のチャートを見て、MCのおひつじ座と6ハウスの^{らくき}落差に少し混乱していたのだった。

ぼくは上手い言葉が見つからなくて、口をつぐんだ。

(迷ったら、直感に^{したが}従うことさ)

思い出したのは、そんなモックまの言葉だった。

*

「それってぼくの水星がおひつじ座だから？」

尋ねるとモックまは「まあね。しかし誰でも直感はあるからね。トランスサタニアンは宇宙からの伝達者だが、彼らをチャートに持たない人はいないだろ？」と言った。

「カンなんて何だか行き当たりばったりな気がするなあ」

とぼく。

「そんなことはない。

人は、愛する相手の幸せを願う生き物だ。

相手のたましいが一体何を選択すれば、一番幸せになれるのか。誰しも無意識に、そこにアンテナを立てている」

「そのアンテナを使うってことが、直感に頼ることなの？」

「ああ。その人の夢が、^{はら}肚の底からの本当の願いなのか。それとも家庭環境などから生まれた、後付けの価値観なのか。それを直感で判断し、くみ取ってあげること。

本来ならネータルチャートには必ずたましいの願いが明確に記されている。

けれど経験が足りなくて、そいつを見つけれられないこともあるだろう。二種類の読みが可能で混乱することもあるかもしれない。

そんな時は相手のたましいの願いに耳を澄まし、そちらを優先してあげる。

これが直感を使うという意味さ」

*

ぼくは顔をあげた。

「すみません、先生。正直ぼくも分かりません」

「え…」

三沢先生は、ポカンとしてぼくを見返した。

「でも、先生の夢がスペインの色彩を表現することなら、今学校の先生としてここに続けるのは、何だか違う気がします」

「お…おう」

「6 ハウスは確かに今の、この学校も示すかもしれませんが、もしかしたら他の可能性だってあると思うんです。

ぼく、今はそれが上手くイメージできませんが…」

先生が、小さく^{まゆ}眉を寄せる。

「…他の可能性」

何か思い当たるフシでもあるのかと思い、じっと次の言葉を待つ。

すると木野さんが口を開いた。

「それに…。岡田くん言ってたじゃない。

10の天体の中でも太陽は、すごく大切な天体だって。その天体がMCの近くにあるってことは、やっぱり先生のMCってとっても大事なんじゃないのかな？

て、ちょっと安易な考えかな…」

(あ…)

ぼくは目を見開いた。

「そう。そうなんです。木野さん、ありがとう。ぼく大事なことを忘れていました。

アセンドントもMCも、その近くにある天体がとて

も重要な意味を持つ。例えば…」

1

2

3

4

5

6

7

5 チャート

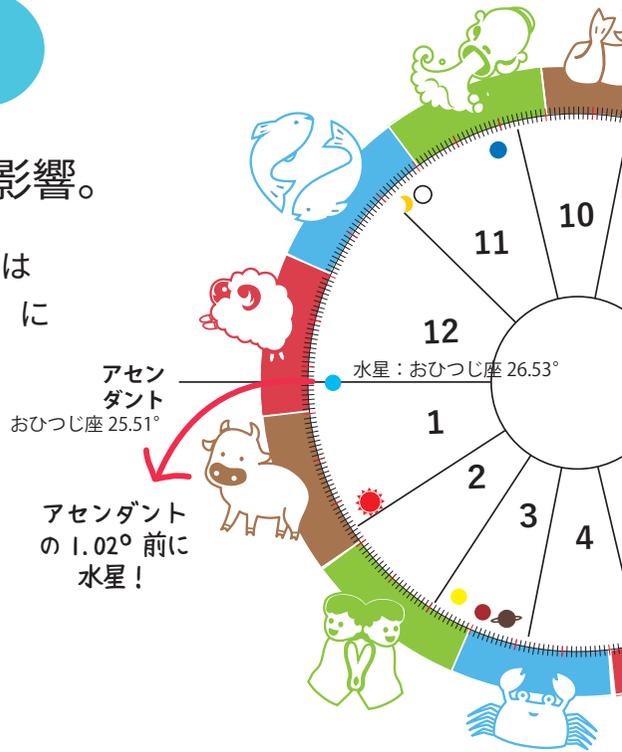
アセンダント × 天体

アセンダント近くの天体が与える影響。

アセンダントの5°前から10°後までに在る天体は「第一印象」「この世に生まれてきたその理由」に強く影響します。



ぼくの第一印象は、目力が強く印象的で、利発そうにかもしれません。ぼくがこの世に生まれてきた理由。そこには、「直感的にものを考え行動し、初めての学びにもひるまず挑戦する」そんなテーマも強く影響しているのです。



	第一印象への影響	生まれた理由への影響		第一印象への影響	生まれた理由への影響
	愛らしさが増しちゃうの♡	感じることを、より大切に♡		大柄でのびのび～	豊かさを満ぎつするわよ♪
	利発そうかもっ！	知性を発揮するんだ！		大人びて真面目そうとな	社会にこの格式を残すのじゃ
	華やかっって言われるでしょ♪	美・五感的満足を楽しむの♡		エキセントリックな雰囲気さ♪	何か革新的なことをしたくてね！
	何だか目立つ無邪気なスター！	誇り高く自分を表現するぞっ！		不思議ちゃん？神秘的とってください	清らかなもの、神秘的なものを届けるの…
	ケンカ早そうっか？	競って競って競いまくるぞ～！		なぜめいて、ちょっと異質なムード♡	普通とは違うことをちたくって♡

「そっか。岡田くんは水星がアセンダントとぴったり同じ場所にあるのね。だから説明が上手いんだなあ」

ぼくは照れながら、「まあもちろん。天体は使わないと育たない。人に教えようと思ったら誰しも努力はいるんだよ？ 水星の位置に関係なくね」と答える。

関心したように頷く彼女の様子に、内心ニヤニヤが

止まらない。

「ふむ…。ということはオレの場合、MCの傍に太陽があるから…。一体どう読むんだ？」

ぼくはコホンと咳払いをし、MC近くに天体があるときの、その影響を示した。

「これをもとに、読んでみてください！」

5 チャート

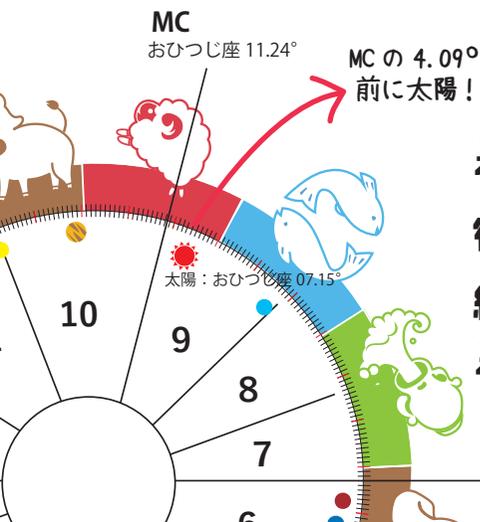
MC × 天体

MC 近くの天体が与える影響。

MC も同じく 5°前から 10°後までに在る天体は「社会の肩書」に強く影響します。

	肩書への影響		肩書への影響
	大衆心理が分かっちゃう だから人気者になりやすいの♥		あたしゃ 別名ラッキースター。 大きく広げて豊かさを手に入れる のよ〜。はっはっは
	情報関係やビジネス、 学問の分野で名を上げるんだ♪		ワシは権威になると決めてきた。 必ず頂点に君臨するじゃろう。
	見せ方重視！ あたしの女性的魅力がウリね♥		ユニークなアイデアで社会に貢献 するのさ。今までの前提を くつがえすような新発想でね！
	社会で主役になる！ 輝く栄光はぼくのもの！		わたしをあたかも神のように、 崇拜する人は多いでしょう。 それがあたしの願いでもあるから…。
	「勝ち取るっ」がカギ！ オレはこれと決めた分野でトップに なるんだ！		あたちの力、巨大だから持て余し ちゃうかも。上手に使えば社会に 対する洞察力抜群なのだ。てへっ♥

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7



オレの MC はおひつじ座にある。だから最後は誰に
従うことなく、自分で切り開いていく仕事につくようだ。
約5度前に太陽があるから、オレ個人の自己表現が
そのまま栄光となるような、そんな仕事になるだろう。

「なるほどな…」

書いた文章を感慨深げに読み返す三沢先生。

すると木野さんが、

「ねえ、それに！先生の太陽ってMCからぎりぎり5度前回りだもん。てことは9ハウスの影響も少しはあるってことじゃない？」

そんなことを言った。

「そうだね。」

9ハウスは『海外』と言う意味も含まれます。

先生の場合この場所に太陽と水星、二つ天体があるんですよ」

「そうか。…まるで仕組みられたようじゃねえか」

先生はそう言ってぼくらの顔を見回したが、その目はとても嬉しそうに見えた。

「だあれも仕組みでいけませんよ！宇宙が用意した先生のカルテに、そう書いてあるだけのことです！」

ぼくは笑顔で言葉を返し、話を続ける。

「そして、天体にはそれぞれ最も発達しやすい年齢域というものがあります。」

先生は今30才。太陽期のど真ん中です。

だからこそ、今は太陽が在るサインとそのハウスに着目するときなんです」

「ふむ…。積極的に太陽を使っていけってことだな？」

「その通りです。」

まずは太陽を使い切った上で6ハウスの天体たちを活かしていく。そこが大切なポイントです」

「そうか…」

「ねえ、岡田くん。」

一番大事な天体は『素の自分を表す月』と『自己表現の太陽』この二つなの？」

「いい質問！」

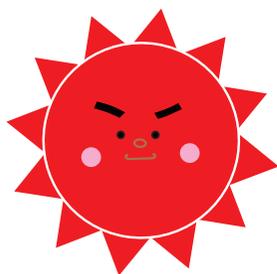
まずはこの二つが人生を切り開いていくときの柱になる。自分の月と太陽をよく理解して、日常的に意識してみたいんだな」

32. 「月と太陽の基本文」を読んでみよう

最も要となる成長パターン。月と太陽。

あらゆる行動・決断・表現の背後にこの型があります。迷ったらここに立ち還りましょう。

月のサイン	太陽のサイン	行動
5. [月の]を土台に、	[太陽の]	[]する。



「月のおとめ座と、太陽のてんびん座。ここから生まれる成長のパターンかあ」

木野さんが言った。

「これはね。

自分がじっくりくる文を作るのがポイントなんだ。

例えば同じ『おとめ座×てんびん座』でも、経理や事務作業を誰にでも分かりやすくする。そんなことに情熱が湧く人も、きっといると思うんだな」

「『経理や事務』が月のおとめ座の関心事で、『誰にでも分かりやすく』が太陽てんびん座のワクワクポイントってこと？」

わたし、これぜんぜん当てはまらない」

「だろ？先生も同様に自分がじっくりくる基本文を考えてみてください。

基本文を書き終えたら、そうだな…『人間関係』をテーマに応用文を作ってみましょう」

5 チャート

月と太陽の 基本文

文型 5

月のサイン	太陽のサイン	行 動
5. [月の]	[太陽の]	[] する。

[月の **うお座**]を土台に、[太陽の **おうし座らしく**] [] する。



月と太陽の基本文		
ぼくは、 見えないものを 感じ取る繊細な 感受性	を土台に	五感を活かし コツコツ 形あるものを 生み出していきます。

[月の **しし座**]を土台に、[太陽の **おひつじ座らしく**] [] する。



月と太陽の基本文		
オレは、 ほとぼしる 情熱	を土台に	勢いと直感で 表現していく。

[月の **おとめ座**]を土台に、[太陽の **てんびん座らしく**] [] する。



月と太陽の基本文		
わたしは、 分析力と観察力	を土台に	調和のある 美しいものを 作り出していきます。

「月と太陽の基本文」を、自分にじっくりくる形で作ってみましょう。
テーマに合わせてそのつど応用文を作ると、自分の成長パターンがよく分かり磨かれていきます。

応用文

テーマ：「人間関係」

ぼくは月のうお座で、相手の心のひだを感じ、気持ちをくみ取ります。

→ そしておうし座の太陽の力を使ってゆっくりじっくり信頼関係を
作っていきます。

→ **オレは月がしし座だからな。人前で笑ったり、からかったりするヤツはどうもだめだ。オレの自尊心を大切にしてくれること。それだけは外せない。こいつだ!と思ったらイチイチ手順を踏むとかまどろっこしい事はせずに、おひつじ座の太陽らしく、パッと声をかけちまうな。**

→ わたしは月がおとめ座だからか、まずは観察から入ります。人柄や身だしなみ、礼儀正しさなんかもしっかりチェックしています。そして、いい子だなと思ったら太陽のてんびん座にバトンタッチ。気さくに声をかけて、仲間でワイワイ親しくなっていき、風通しの良い関係を作ります。

1

2

3

4

5

6

7

「面白い！

でも…人間関係って金星も関係してそうだけど？」
と、木野さんが言った。

「ああ。例えばこれが恋人選びだったとしたら…。
金星が一番の主演、その背後で月と太陽が動いてい
るって感じかな。

金星は恋愛のスペシャリストだから」
「わたしは金星もおとめ座だからな…。

正直、恋にもクオリティを求めちゃうかも。実はす
ごーく理想が高いんだよね…」

「そ、そうなんだ」

「オレの金星はおうし座だが…。

言われて見りゃ相手が女となると、どうもスロー
ペースになるんだな。急に気後れしちまってオレらし
く行動できねえんだ」

と、三沢先生が頭をかきながら独り言ちる。

「ふふ。先生、不器用そう…」

「しかし…自分の質は納得いくが『天体たちを使
う』ってのが良く分らん」

正直ぼくは木野さんの恋愛事情をもっと訊きたかつ
たけど、何食わぬ顔で先生のネータールチャートに目を
やった。

「うーんと、そうだな。

恋愛だとスローペースで中々^{しんてん}進展しない。

そんな時には自分を責めるんじゃなく、『オレはじっ
くり相手との関係を育みたいんだな』と、まずは金星
のおうし座の願いをくみ取ってあげることなんです」

「オレの金星の願い…？」

「そうです。必ず天体とサインのかけ合わせには、独
自の魅力と良さがあります。

じっくり自分の感覚を大切に作る恋愛が、もたらし

てくれる『何か』です」

「確かにな。なんつうか自己完結^{かんけつ}と言っちゃえばそれ
までなんだが、相手の美しさとか、しゃべってるその
声とか、感じるだけで満たされちまう、みたいなど
ころがある」

「そうそう、そこです」

先生は胸に手を当てしばらくの間、目を閉じた。
妙な例えだけれど、その姿はまるで眠っている^{きよう}
竜^{りゆう}に似ていた。

深く深く大地の底まで降りて行って、人間には到底
たどり着くことのできない、地球の深部から何かをく
み上げてくる。そんなイメージ。

もしかしたらこの人は、いつも何かに気づくとき、
こんな風に深い場所へと降りていくのかもしれない。
それは先生の水星がうお座にあるからだろうか…。

ぼくはあまり根拠^{こんきょ}なく、そんなことを思った。

三沢先生は深い呼吸を一つして、小さな瞳をゆっく
りと開いた。

「…こいつを受け入れてやる。そう思うだけで、気持
ちがずいぶん変わるもんだな…。

なんて言うか創作意欲^{そうさくいよく}が湧いてくる感覚がある」

「金星はアートも司る天体です。

そしておうし座のルーラーでもありますから…。

本来このサインで最も元気に働く天体なんです。

ご自身の恋愛パターン、金星の持つ魅力を受け入れ
るだけで創作意欲が湧いてくる。

充分にあることです」

先生はしばらくの間、内側に表れた新たな感覚を味
わっていたけれど、次第に表情が変わってグッとぼくに
詰め寄った。

「でも岡田。とは言え男たるもの『見るだけで満た

される』じゃ、終われねえこともあるじゃねえか」
「た…確かに。想ってるだけじゃ満足いかないって時期が来ますよね、当然！」

自分の状況と混同こんどうしそうになりながら、何とか平静を装って声を張り上げる。

「そんな時はやっぱり火星を使うこと。火星は男性性のスペシャリスト。『勝ち取る愛』が専門ですから！」
「…オレの火星はやぎ座か。」

とにかく仕事で結果を出すってキャラだよな…」

思案しあんげ気に口ひげをいじる先生。

しばらくして、あっと小さく声をあげた。

「思い出した…。恋愛が進展しない時、オレは知らずと火星を使っていたかもしれない。

たった一度なんだが自分の作品が小さな賞に入ることがあってな。当時好きだった人に『美術館に行こう』と誘ってサプライズでそいつを見せたんだ。

とにかくオレも社会で評価されてるのを見せたくてな。そうしたら彼女がいたく感心して…」

「…お付き合いが始まったの？」

と木野さん。先生がおもむろに頷く。

「まあ入賞したからってワケじゃないだろうがな。

とにかくそんな時のオレから自信のようなものが感じられて惹ひかれたって後から言ってたな。

しかし片思いで終わりがちなオレの恋愛の、ちょっとした成功パターンが見えた気がするぞ」

「天体を使うって意味が少しは分かっていただけでしたか？」

「おう。迷ったら火星を使う。と言うか、いったいどの天体が今の状況に適してるかを考えて、そいつを積極的に使うってことだな！」

「その通りです！」

ぼくは大きく頷いた。

そう…。自分の天体が持つ魅力や苦手科目を知ったなら、彼らの個性に振り回されることはない。

ぼくらが自分の意志で天体を使い、その魅力を存分に発揮してやることができる。

そうすれば、ぼくらはもっと自分自身を好きになっていくんだ。

「恋愛では金星と火星。学習では水星と月。

そんな風に天体同士タッグを組んで使っていくことは多いんですが…。

とりあえず最も基本となる『月と太陽の基本文』を意識してみてください。自分のあらゆる原動力や成長のプロセスがここに集約しゅうやくされている。

そう気づくはずですよ」

「はい！」

「じゃあ最後に、

1. 月と太陽の基本文
2. サイン×ハウス
3. そのハウスでの自分の傾向
4. ハウスでの学びと対処方法

これらを組み合わせて、自分なりに読んでみましょう！」

1

2

3

4

5

6

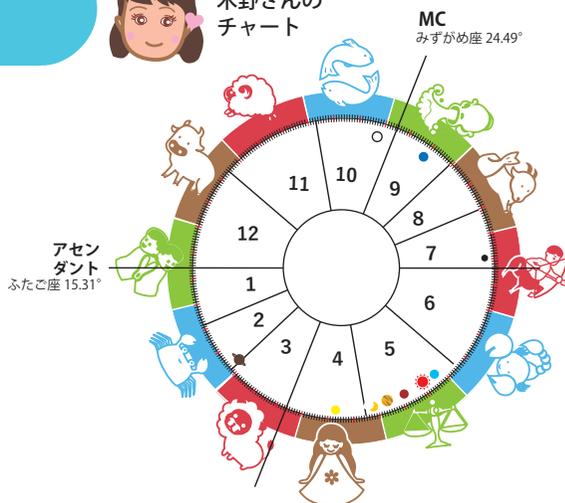
7

5 チャート

複合的に読む



木野さんの
チャート



① 月と太陽の基本文	[月の] を土台に、[太陽の] [] する。
② サイン×ハウス	
③ そのハウスでの傾向	わたしは [] では、始めは [] ますが、だんだん [] のようになっていきます。
④ ハウスでの学びと対処	わたしは [] で生まれた課題を [] で、[] 解決へと導きます。

① わたしは分析力と観察力を活かしながら、プロのヘアメイクアーティストになるのが夢です。

② 月と太陽は5ハウスにあり、4つもの天体がてんびん座にあります。だからわたしはセレクトショップや美容院などオシャレな遊び場が大好きです。

③ 5ハウスはおとめ座から始まり、てんびん座を通過し、さそり座で終わります。

そのおとめ座に月がありますから、特に遊びに行く前は事前の下調べや準備をきっちりします。そして今流行の服やヘアスタイルで、出かけに行くのです。行った先では最先端のものを、つぶさにチェック!ほとんど研究者のようです(笑)

④ 悩みは、つつい可愛いものをたくさん買ってしまい、後から罪悪感にかられること…。

自制心の強いおとめ座の月とぜい沢が好きなたてんびん座の太陽が葛藤するんだと思います…。

5ハウスの始まりはおとめ座。おとめ座のルーラー水星は5ハウスにありますから、解決策は

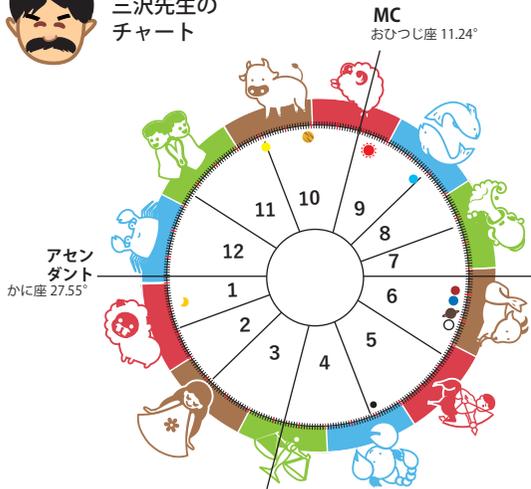
行った先でてんびん座の水星を使うこと。「自分の夢のために必要なものは何か?」と

いるものをよく考え吟味して、後の学習に役立つものだけを購入する。

そうすれば月のおとめ座も納得し後から充実感も味わえると思います。



三沢先生の
チャート



① 月と太陽の基本文	[月の]を土台に、[太陽の] []する。
② サイン×ハウス	
③ そのハウスでの傾向	わたしは []では、始めは []ですが、だんだん []のようになっていきます。
④ ハウスでの学びと対処	わたしは []で生まれた課題を []で、 []解決へと導きます。

① オレはほとぼしる情熱を熱いと直感で表現する。その力をスペインで発揮して、絵描きとして暮らすのが夢だ。

② しし座の月は1ハウスにあるので周りを気にしないで本能に従ってやりきってみること。それを9ハウス、MC 近くの太陽を使いおひつじ座らしく当たって砕けろで海外に押し出すこと。

③ 9ハウスはうお座始まりのおひつじ座終わり。だから自然や見えないもの、ナチュラルなものを吸収し、あまり考えすぎず、直感的に打ち出すことになるだろう。外国というフィールドで学んだことは、オレの血肉になって表現力の支えになってくれるだろう。

④ 気になるのはうお座の持つあいまいさだ。一体これをどう表現に、形に変える？それに9ハウスはおひつじ座終わり、おまけに太陽もここにある。描くものが独りよがりになって他人からの評価を得にくいかもしれない。その解決案は9ハウスの始まりにある、うお座のルーラー海王星の場所とサインだ。海王星は6ハウスのやぎ座にある。

現代社会が求めるものを見定め、社会的にも意義のある表現を取り入れるのがポイントだ。それを6ハウスの労働の場所で、忍耐強くコツコツ作り込むことだろう。

1

2

3

4

5

6

7

「できたー！」

木野さんが、弾んだ声をあげた。

続いて三沢先生が「ひーっ！ やっとできたぞ！」とペンを置く。

ぼくはまず、木野さんの書き上げた文章に目を通し「上手にまとめたね」と微笑んだ。

「木野さんは5ハウスのてんびん座に『増大』の専門家、木星がいるからなあ。そりゃ、どんどん買いたくなるよね」

「そうなんだあ…。こいつの仕業もあるんだあ」

「でも木星の担当は『増大』だけじゃない。

その人の『発展力』も示すから5ハウスの天秤座にある天体たちを積極的に使って行けば、社会で発展できるってことなんだ」

「へえ…」

彼女は嬉しそうに、自分のチャートに目を落とした。

続いて先生の文章に目を走らせる。

「いいですね。ご自身で書いてみて、どうでしたか？」

「正直オレは社会に警鐘を鳴らすような作品ってのは、あまりピンとこねえんだ。

ただ…思い出したのはスペインの移民問題だなあ。向こうにいた時に出会った北アフリカの女性。密入国者だからスペインから見りゃ厄介もんだ。

でもすさまじい過去を持っていて、話を聞いたときとんでもなく心が痛んだんだな。

あんまり深い悲しみを描くのは性に合わねえが、そうだなあ。あの人は描いてみたいと思ったんだよなあ」

「9ハウスの始まりはうお座です。うお座は相手の痛みに同調し、癒しを起こすサインです。

もしかしたら先生は、あちらでそんな学びを体験するのかもしれませんがね」

「くー！お前らがその気にさせるからスペインに戻りたくなってきたじゃねえか！」

三沢先生が声を上げた。

木野さんはまだ気持ちが高ぶっているようで、

「これさ。アセンダントとMCの読みとか、ゼーンぶ組み合わせたら本当にわたしのカルテだよな？」

宇宙からのプレゼントをこんな風に自分で解読できるなんてすごい！」と言った。

「そうだね。冒頭で触れたサインの三つの分類も、自分のエネルギーのパロメーターになるからとっても大切だよ」

「はい！」

と木野さん。

「いやあ…思いのほか発見がいっぱいあった…」

先生はやや茫然とし、自分のチャートに目を落としたままだ。

「今日学んだことは占星術で分かることの半分にも至っていません。けれど基礎的な読み方は習得したので、後は自分で応用して読んでみてください」

ぼくはそう言って立ち上がり、「じゃあ今日のレッスンは、おしまい！」と言った。

*

「はー…疲れたな」

と三沢先生。

どうやら頭がパンク寸前らしく、クシャクシャと髪をかきむしっている。そんな先生とは対照的に、木野さんは目を輝かせしばらくの間ノートを読み返していた。

彼女のイキイキとした表情は、ぼくを元気づけた。

本当は、連日のモックまのレッスンとそいつをまと

める作業でクタクタだった。

でも…。苦悩しながらも、次々新しい自分を発見していく三沢先生。目をキラキラさせて学ぶ木野さん。

二人の姿を見ていると、少しずつ疲れが抜けていくのを感じた。

ぼくらは帰りの準備を整えて美術室を出ようとした。

ふと、昨日先生が描いていたキャンバスが目に残る。

絵具をただランダムにのせただけに見えたのに、まるで色彩の向こうから浮き上がるように現れた裸婦。

目にした瞬間、ぼくはその技術に息を呑んだのだけど…。

何故かその時、目に映った途中描きの作品は、どこか眠っているような印象を受けた。

それは何となく悲しみのベールに包まれていた。

かといって心深くに突き刺すような、エゴン・シーレみたいな悲しみじゃなく…。

鮮烈な情熱を、無気力で、無感動で、惰性的な、温度も重さも持たない、うすっぺらな悲しみでおおい隠したような、そんな印象。

じっと見つめているうちに、ぼくは不思議な感覚に捕らわれた。それは決して心地の良いものではなかった。

手放したはずの疲労感が、またジワジワと戻ってくる。

「どうしたの？岡田くん。もう鍵しめるよ」

廊下から木野さんの声。

ぼくは何かを払いのけるように首を振り、美術室を出た。

(きっと疲れてるんだ…)

冷たい廊下を歩きながら、そう自分に言い聞かせた。

1

2

3

4

5

6

7



第5章

アスペクト

33. ぼくの恋の行方

「モックまーっ！！」

家に帰ると自室に直行し、開口一番、そう叫ぶ。

「おやおや。どうしたんだい？ レッスンは上手いかなかったのかい？」

「いったさ。昨日必死にまとめた^{かい}甲斐あって、よくできたと思う…」

「だったら何をそんなに嘆いているんだい？」

首を傾げ、モックまが尋ねた。

「木野さんのチャート…今日改めて見てみたら…」

火星がてんびん座だったんだよー！！好きなタイプはオシャレで社交上手！！」

「なるほど。しかし女性にとっての好みの男性像は、太陽でも示されるはずだが…」

「知ってるよ。」

男の異性のタイプは月と金星。女の異性のタイプは太陽と火星！木野さんときたら太陽までが、てんびん座！！筋金入りのオシャレ男子好き！

ぼくは一体どうすりゃいんだー！！」

そう叫び、モックまが使っているベッド替わりのタオルに顔をうずめた。

小さいくまはびよんと飛びのき、「やれやれ…ぼくのベッドがベチャベチャじゃないか。こんな時こそ、自分の天体達を、使うんじゃないのかい」と言葉を返す。「ぼくの火星はかに座だよ？でもって太陽はおうし座。二つとも女タイプ…。」

男タイプのてんびん座とは、水と油の関係じゃないか！こんなぼくを、好きになってくれるとは思えないーっ！！」

そう吠えるように叫ぶと、ぼくはまたタオルの中に突っ伏した。モックまはしばらくその様子を眺めていたが、やがて静かに言った。

「しょう太。こんなことはいくらもある。最初にそう言ったろ？」

相変らず冷静な声音が、寂しくもあり頼もしくもある。こんな時いつもそうするように、ぼくは少し^す拗ねたような声で言い返した。

「何が…」

「天体を使っても上手くいかない事はいくらでもある」

「・・・」

「占星術は『成功』のための道具じゃない。あえて言うなら『成長』のための道具だ。

君だけの魅力。君だけの才能。その種を見つけて育み自分自身を^{みが}磨いていく」

「分かっているけど…」

ハナをすすり、ゆっくりとくまを見つめる。

「今回彼女との関係から一体どれだけのことを学んだと思う？」

「…確かに、自分の星を使うまではしゃべることもできなかった」

「それだけじゃない。君は新たな自分の魅力を大いに発見したじゃないか」

「新たな魅力…？」

モックまは小さく笑って、頷いた。

「自分の月、感情の在りかを発見した」

「…そうだね。ぼくは人が好きなんだって、確かに気づいた」

「そして、自分の知性を知った」

「うん…。直感を信頼することが、ちょっぴりだけど

出来るようになった」

「そして『伝える』才能まで見つけて磨いた」

ぼくはやっと顔を上げ、「…好きなことを勉強したり、教えたり。これがこんなにエキサイティングだって初めて知った」笑みを浮かべた。

「一つの恋が実ることも素晴らしいけれど、君が自分の魅力を発見し、育んで、自身を大好きになれたこと。それに勝る喜びがあるだろうか」

いつになく真つすぐな目をして、モックまが言った。

本当は「ありがとう」と答えたかったのに、ひねくれた自分が邪魔をして「てか、親かよー！ 親身になりすぎだっ！」と笑い飛ばす。

「親ではないが、友人だと思っているよ」

と、真面目^{くま}腐って答えるモックま。

「それにね。確かに地球じゃ占星術を男女の相性にも使っているようだが…」

これはぼくの意見だが、人が自分の天体を使って生き抜いたとき。理屈じゃない、素晴らしい魅力が花開く、そう思っている」

「例えチャートじゃ相性がイマイチでも、魅力がすぎて好きになっちゃう事もあるってこと？」

「その通り」

「そうかあ…。でもなんかさ。木野さんとの関係が長期戦って思ったら、ぶっちゃけ教えるモチベーションが下がってきちゃったんだよなあ…」

言いながら、チラリとモックまの顔色を伺う。

「ふーん。まあじゃあ、やめればいんじゃない？」

予測に反した答えをいぶかしく思い、「怒んないの？」と問い返した。

「何故ぼくが？」

「や…だからさ。せつかく教える喜びを知ったのに、

この成長の機会を大切にしろ、とかさ」

モックまは「ふむ」と小さく頷いた。

「まあ…。君はまだ14才だからね。ふたご座の金星が、好きな子と親しくなるため動き出した。ふたご座らしく教え伝えることで急接近。けれどその恋が長期戦と分かった瞬間やる気を失った。

そんなことはいくらでもあると思ってるからね」

「…またぼくは怒られるかと思ったよ」

「君は先からぼくに怒られる話をしているが、一体いつぼくが怒ったと言うんだい？」

「えー^{しろくじちゆう}一四六時中怒ってるじゃないか！」

「なるほど。君はそう感じているんだね」

そう言われて何だかはぐらかされたような気分になる。

「いや、怒ってるよ」

「怒ってないよ」

「怒ってるって。天体をちゃんと使えとか、結果じゃなくプロセスから学べとか」

「それは怒っているのではなく指導しているだけ」

「えーなんだよ、へ理屈言って！」

次第に熱くなるぼく。

モックまはチラリとこちらに目をやると、「そうだな…そろそろ君に、西洋占星術の最後の要を教える次期かもしれないな」そう言った。

*

「最後の要…？」

「ああ。西洋占星術は天体・サイン・ハウス、この三つで構成されている。

最初にそう言ったのを覚えているかい？」

1

2

3

4

5

6

7

「うん。それを順番に学んできたんだもん。忘れるわけない」

「うむ。しかし実を言うと…ここにもう一つ大切な項目があるんだ」

「そうなの？」

と目を輝かせる。

「ぼくは学問上の真実より学習者のモチベーションを優先するからね。

情報が多すぎてやる気を失ってしまうより、あえて言わないことを選んだのさ」

ちょっとドヤ顔で、モックまはそんなことを言った。「講釈こうしゃくはいいからさあ。その最後の項目ってのを教えてよ！」

小さいくまはニヤリと笑う。

「どうやらまだ、占星術への関心は衰おとろえていないようだね」

「ぜんぜん！正直もうこれでおしまい？って感じで、物足りなく思ってたとこだよ！」

「よし…。じゃあ早速始めよう。最後の項目は…」

とその時、台所の方からぼくの名を呼ぶ母さんの声が出た。

「なにー？！今忙しいんだけど！」

と大きな声で返事をする。

次第に廊下を近づいてくるスリッパの音。ぼくは慌あわてて立ち上がり、ドアから顔を出した。

「しょう太。最近、いつも帰りが遅いみたいだけど学校で何やってるの？」

廊下の明かりを背にして立つ母さんの表情は、薄暗くてよく見えない。

「何って別に。友達としゃべってるだけだよ」

「いつも真っすぐ帰って来てたのに、急にどうしたの

よ」

責め立てるように母さんが言う。

「いいじゃん、別に。ちょっと仲のいい子ができたんだよ」

「仲のいい子って？」

「もう。別に悪いことしてるワケじゃないんだから。そんなに詮索せんさくしないでよ！」

思わず語調を強めた。すると母さんも負けじと声を荒らげる。

「なあに、その言い方。あなたちゃんと勉強はしてるの?!」

こうなったら延々えんえんとお説教が始まるんだ。

ぼくは母さんの声をさえぎって、「あーもう分かったってば！チョコビの散歩に行ってくるから！」そう言い放つと、モックまに「ゴメン」と小さく合図を送り、部屋を出た。

*

もうすぐ5月に入ろうというのに、外は少し薄ら寒いそじかった。家路を急ぐ人影がまばらに行き過ぎていく。

モックまの次のレッスン。

その内容は、先ほど問答になったことに何か関係があるのだろうか。

確かくまは言っていた。ぼくが占星術に熱中したのはふたご座の金星が働いたからだって。

正直ぼくは天体たちを使いこなし、3ハウスに在るかに座の火星と土星まで到達しちゃったのかと思ったんだ。

かに座は育みのサイン。3ハウスは学んだり教えたり、文筆に親しむ場所。

そこで情熱の火星が働いて、土星の具現化力も動き出して、ぼくときたらもう既に^{すでに}発達年齢域が50代の土星まで、こなせるようになったのかも、何てさ。

でも残念ながら木野さんの一件以来、占星術を教える情熱に^{かげ}陰りが出たのは確かだった。

もしこの意欲が、コツコツやり抜く土星によって生まれたものだったなら、こんなにあっさり気が変わることも無かっただろう。

「…あ～あ。あと数回レッスンしたら、やめちゃおうっかな」

ぼくはそう独り言ちた。

ふっと、三沢先生の顔が浮かんだ。

太い眉の奥にある小さな瞳。笑うとしわのできる目元。そして、悲しみのベールに包まれた描きかけのキャンバス。

ぼくは三沢先生が好きだった。

何故だか分からないけれど、話をしていると心と心が繋がるような深い親しみを覚えた。

(教えるなんて、しゃちほこ張った気持ちじゃなくて…ただもっと、仲良くなりたいんだ)

心の中で、そうつぶやく。

知らない間に少し頑張りすぎていたのかもしれない。
(明日はもっと気楽にやってみよう)

そう心に決めると、ホッと肩の荷が下りるような気がした。

チョビが足元で、くうんと嬉しそうに鼻を鳴らした。

どうやらこいつにも、ぼくのホッとした気持ちが伝わったようだった。

34. アスペクトとは「内面のゆれ」

夕飯を平らげ母さんの小言を避けて風呂に入り、ぼくはすぐに自室へ戻った。

「お待たせしましたっ！ モックま先生！」

モックまはふむ、と小さく頷いて、例のごとく枕にくぼみを作り教授のように座り直した。

そして妙に朗々とした声で、「西洋占星術の最後の要。それは…アスペクト！」と言った。

「アスペクト…？」

「そう。アスペクトってのは、天体同士の角度のこと。それが何を意味するかと言うと…」

1

2

3

4

5

6

7

7 アスペクト

天体同士の角度
内面のゆれ

天体同士の角度から生まれる「内面のゆれ」、アスペクト。

天体 × サインは、あなたの中にある 10 の個性を表しました。

その個性がぶつかり合って生まれる「内面のゆれ」を示すのが **アスペクト** です。

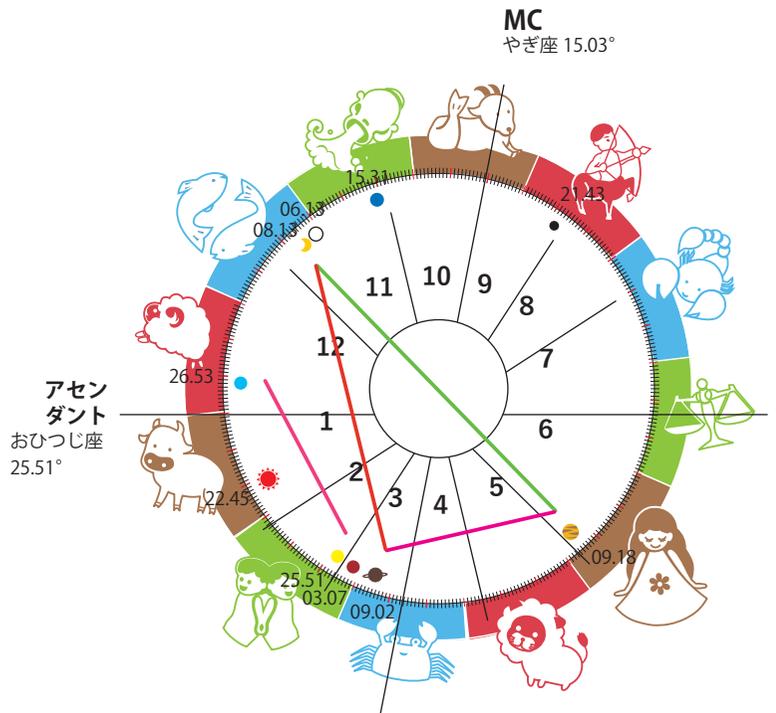
アスペクトとは、天体同士を結んだときに生まれる角度のこと。

例えば 90°なら「強い葛藤^{かっとう}」、120°なら「安心」、そんな心の動きを表します。



しょう太の
チャート

アスペクト		
0°		
180°		
120°		
90°		
60°		



「なるほど。0度とか90度とか特定の角度に意味があるんだね。でも…」
首をひねる。

「角度ってどこの角度？」

「いい質問だ」

モックまは頷いて、ページをめくった。

アспектの「基本の型」は天体を結んで生まれる図形。

わたし達から見て天体は、地球を中心にぐるぐると回っています。

天体はそれぞれ公転周期が違いますから、時期によって二つの天体が同じ位置に来たり、差し向かいの 180° に来たりします。

そのようにして生じるのが、 0° 、 180° 、 120° 、 90° 、 60° の、五つのアспектです。

基本の型
(天配置体による図形) = 内面のゆれ

基本の型	天体の位置					
	図形					
	アспект	0°	180°	120°	90°	60°
		0°	180°	120°	90°	60°
		0°	180°	120°	90°	60°

0° から 60° まで、それぞれ異なる「内面のゆれ」が生じますが、その特色はアспектを作る天体の、サインが深く関係しています。

「天体を結んで作る図形の角度かあ。
でもどうしてそんな揺れが生まれるの？天体の在るサインによって決まると書いてあるけど…」

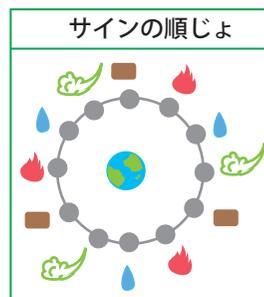
「君もさっき言ってたじゃないか。木野さんの火星と太陽は風に在る。だけど自分の火星は水、太陽は地。だから好かれる気がしないって」

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7

7 アспект

サインとの関係性

「内面のゆれ」は火・地・風・水の
かけ合わせで決まる。



0°・120° 火 地 風 水のいずれか一つで統一。

90° 男タイプ(火 風) × 女タイプ(地 水)。
水と油のかけ合わせ。

0°・120°は、同じ質同士、調和が生まれやすく、90°は全く異なる質のため、強い葛藤が生まれます。

180°・60° 男タイプ(火 風)、女タイプ(地 水)のどちらかで統一。

180°と60°は、サインの組み合わせは同じ条件ですが、図形を見比べると大きな違いがあります。180°は1対1。差し向かいの天体のパワーを逃げ場なく受け止めるため、時に葛藤を生みます。対し60°は天体のパワーバランスが、六方に分散されているため120°に次いで調和的なのです。

	0°	180°	120°	90°	60°
アспект					
サインの位置					

「そうかあ。一概いちがいに 120 度だから安心、調和的って
ワケじゃないんだね」

「ああ。例えばね。運動会にお父さんが応援に来てく
れたなら君はどんな気分？」

「そりゃ嬉しいよ」

「ふむ。これが君という月に太陽というお父さんが、
120 度でアスペクトを組んでいる状態」

「うんうん。安心で心強い感じ、分かるよ」

「ところがだ。もし名の知れたマフィアのボスが君の
運動会に応援に来る。どうだい？」

「だいぶ緊張するね」

「他には？」

「いや、ビビるよ」

「本調子で、臨のぞめそうかい？」

「んー…難しいなー。もうワケ分かんないくらい変な
テンションになっちゃって、火事場かじばのくそ力とかが出
ても不思議じゃないけど。でも大抵はビビって固く
なってんじゃない？」

「これがまあ冥王星が君という月に 120 度で組んだ
状態。時に常軌じょうきを逸いつした精神力を発揮することもある
が、まあビビることの方が多い。そんな関係性だ」

「なるほど…よく分かった」

「つまりここで言いたいことはだ。

アスペクトを読むときには、120 度・60 度は調和的、
90 度・180 度は葛藤を生む、そうした前提はあるに
しても、天体同士のパワーバランス、その性質なども
考慮する必要がある、ということさ」

「うん、分かる。だってどう考えてもトランスサタニ
アンは常人じゃないし、土星じいや火星どんは怒らせ
たら怖いタイプじゃん。

どんな角度でも、関係持ってるだけで緊張するで

しょ」

「ふむ。とは言えそんな彼らとの関係性を良好なもの
に変えることが出来たなら、そのアスペクト特有の『強
み』を生む」

「あの…でもさ」

「なんだい？」

「天体同士の角度って、実際は難しいよね？」

「難しいとは？」

「だから…。例えばぼくの月は、うお座の 8.13 度じゃ
ん。でも天王星はうお座の 6.13 度。きっかり同じ位
置にくる瞬間なんて、ほんの一時しかないじゃん」

「いい質問だ。

君の言う通りきっかり同じ位置でなきゃ合とは見な
さない、ということじゃ、合のアスペクトなど滅多めったに
見ないことになってしまう。

それは他のアスペクトも同様だ。きっかり 90 度、
きっかり 120 度なんてほんの一時の出来事だ。

だからアスペクトには『前後に少しずれていても成
立する』と言うルールがある」

アспектは度数に幅がある。

アспектは、きっかり $0^\circ \cdot 180^\circ \cdot 120^\circ \cdot 90^\circ \cdot 60^\circ$ のものしか^{がით}該当しない訳ではありません。

アспектによって^{きよよう}許容の範囲があり、前後に少しずれていても成り立ちます。

その許容度を **オーブ** と言い、範囲は下の図の通りです。

	天体	0°	180°	120°	90°	60°
オーブ		8°	8°	8°	8°	6°
		6°	6°	6°	6°	4°

本書のチャートでは

天体	オーブ	0°	180°	120°	90°	60°
	2° 未満					
	2° 以上					

のように記されています。

二つの天体の専門性を、かけ合わせる。

一つのアスペクトに対し、天体の組み合わせは 90 通り近くあります。
文型を用いて大枠を理解しましょう。

このとき天体同士のパワーの差や、天体の持つ性格なども考慮^{こうりょ}※します。

天体の専門性をピックアップしました。こちらを文型に当てはめ、基本となる文を作ります。さらに肉付けし、じっくりくる文章にしてみましょう。

慣れたらこの表にこだわらず、天体の専門性を自由に組み合わせ、文章を作ってみましょう。

天体の専門性（一部）	
冥王星	超強力・洞察 ^{どうさつ} ・破壊・極端・宇宙からの情報
海王星	ボーダレス・夢見・インスピレーション
天王星	改革・エキセントリック ^{はんこつせいしん} ・反骨精神・場所、枠を超える
土星	管理・社会秩序 ^{ちつじょ} ・そぎ落とし ^{くげんか} ・具現化
木星	発展・増大・豊かさ・寛大さ・善なるもの
火星	パワー・性欲・情熱・活力・集中力
太陽	自己表現の欲求・自我・なりたい自分
金星	美的感覚・ぜいたく・社交・趣味・愛情・恋愛
水星	言語力・知性・技能・計算能力
月	体・感情・子どもの自分・素の自分・習慣

※ 考慮（こうりょ）とは、そのことをよく考えてみること。

「オープンかあ。これがあるなら誰のネータルチャートにも、どれかのアスペクトは入ってるね」
「恐らくね。まあとにかく、君のチャートのアスペク

トを試しに読んでみようじゃないか」
「待ってました！」